

学会誌『まなびあい』は、

- ◎「実践と研究の交流の場」をコンセプトにしているコミ福学会らしい、現場を大事にした学会誌
 - ◎学生は大学での学びを、卒業生は現場での実践を振り返る機会とすることができるような学会誌
 - ◎卒業生へ、コミ福の現状やコミ福の仲間たちの活躍を伝えることができる学会誌
- を目指しております。

◆『研究実践奨励賞』

学会誌『まなびあい』に掲載された作品の中から、優れた研究もしくは実践を奨励し、受賞者には賞状、副賞を贈ることになりました(本学教員が筆頭執筆の論稿を除きます)。

【研究】に関して

卒業論文を、8～10 ページ(1 ページ 1200 字)に再構成し「研究論文」として、
または 6～10 ページに再構成し「その他の原稿」として
投稿することも可能ですので、ぜひこの機会にご活用いただきたいと思います。
また、原稿の長短に関わらず、論文以外の原稿も、『研究実践奨励賞』の対象となります。

【実践】に関して

自身の実践報告はもちろん、“まなびあい”の趣旨に関連する他者の活動報告も歓迎します。
良い活動、良い実践をされている人、
団体の中には、忙しくて文章をまとめている余裕のない方も大勢いる、
そういう方々の実践を評価し奨励しています。
ただし、他者の活動報告の場合、実践が評価されたことによる受賞者は、
執筆者でなく、実践者となります。

◆『まなびあい』第 18 号の原稿募集概要

「投稿規定」「執筆要領」をご確認ください。

今号も、皆様からの寄稿により、“まなびあい”らしい学会誌を発行できればと思います。

■原稿の種類

1. 研究論文
2. 研究ノート
3. 実践記録、実践報告
4. エッセイ
5. 現場からの声
6. 卒業生の活動報告(福祉専門分野に限らず、広く募集します。)
7. 在学生の活動報告
8. その他(例:おすすめの書籍・DVDの紹介、高齢福祉職セミナー・コミ福祉協の会など卒業生による活動の報告)

◎昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症が生活に及ぼした影響に関する投稿も歓迎します。
私たちの学びと生活は、新型コロナウイルスの感染症の拡大で大きく変化しました。今後の生活の
あり様や、皆さんの貴重な声を是非、お聞かせください。

■原稿量

1 ページあたりの字数を 1200 字とし、論文は 8～10 ページまで。

研究ノート、実践記録、実践報告は 6～10 ページまで。

書籍の紹介、エッセイ、現場からの声は、1～5 ページまでとする。

その他については、編集委員会が適宜判断を行う。

■締切

・執筆申請締切：2025 年 6 月 30 日（月）12:00

・原稿提出締切：2025 年 8 月 29 日（金）

■執筆申請方法

以下のフォームよりお申し込み下さい。

<https://forms.gle/mF724tzLAZTGBA3XA>

■原稿提出方法

Word で作成の上、コミュニティ福祉学会運営委員会事務局(cchs@rikkyo.ac.jp)宛でご提出ください。

■その他

・詳細については、コミュニティ福祉学部 HP でもご確認いただけます。

[立教大学コミュニティ福祉学会「まなびあい」 | コミュニティ福祉学部 / 大学院コミュニティ福祉学
研究科公式サイト \(rikkyo.ac.jp\)](#)

・掲載された論文・研究ノートは、原則、リポジトリに登録し、オンライン上に公開します。

ご不明な点は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

立教大学コミュニティ福祉学会運営委員会事務局

〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26

TEL 048-471-7308

Mail cchs@rikkyo.ac.jp